

Dear our partners.
ともに
Dear our partners.

【校訓】
やさしく
かしこく
すこやかに
平成27年9月15日
第18号
天草市立久玉小学校
学校通信
編集代表
校長 本田勝則



二ツポンのものづくり

はすぎい二ツポンのものづくりはすぎい

九月十一日(金)は熊本県「ものづくりチャレンジ教室」がありまして、この教室をやりたいたい口の手ほどきを受けながらの制作でと応募して、関係者が来てくださるという企画で、県下八校での実施でなりました。

子どもたちが自分で切る余地も残していただいていました。それを、プ

生きることか、人生とか、働くことか、体験することか、人通じすることか、そんなことから、職人さんたちの名言を集めてぎゅっと詰まった120分間の貴重体験でした。

ひとつ道を究めるとは、人生に

久玉小に、大工さん(技能士)5名、職業訓練校の先生2名、県の担当の方1名、マスコミの方3名が来校されました。

CDラックを作りました。

用意していただいた杉の木板、大体を切っていたいただいており、一部



大団円

～校長室より～



「子どもが主役」

「学校は学ぶところ・育つところ」です。子どもばかりでなく、教師も保護者も同様に学び・育つところではないが、主役である久玉っ子一人一人に努力することを求めるばかりでなく、主役を育てる役割を担う保護者や教師が教え導くとともに、子どもに努力を継続させたり、意欲的に取り組むよう支援することが必要となります。

その結果、子どもに成功体験や達成感・成就感を多く味わわせることは、自己肯定感を強くすることにもつながります。

二学期は、子ども一人一人が主役となる機会が多くあります。対外的行事・校内行事等に取り組む中で、体験を通じて自信やお互いに支え合い、ともに伸びる態度づくりに努めてほしいと願っています。

二週間が経過し、久玉っ子の生活・学習も徐々に一学期の状況に戻ってきました。これから本格的な二学期の教育

「木と人間は切っても切れない縁がある」

「杉の板には表と裏があるんだよ」

「木は1本1本ちがう」

「だから出来上がった作品もひとつひとつちがうんだよ」

「家を建てるときは、木、一本一本をイメージするのです」

「木に親しみを持って、木を巧みに使って、大きくいえば家を作るのが私たちの仕事です」

「ここ天草からも優秀な大工さんがいっぱい出ています」

「災害があれば、私たちも出かけるんです、私たちにしかできないことがある」

「6年生のみなさん、片付けまでしてくれてありがとうございます」

「家づくりも同じです、片付けまでが家づくりです」

活動が始まります。始業式では、『伸びる二学期』にしようという約束したところ。自分で決めた目標に向けて、「素直な心」で「行動する」久玉っ子であってほしいと願っています。そのためには、次々とやってくる行事に追いついていられないよう、決めたことを「計画的に実行する」ことが大切です。保護者(ご家族)の皆様のご協力が何よりのお楽しみです。よろしく

だれの言葉でしょう？

私、〇〇です！
大きくなったけど、私を覚えてませんか？
ずっと帰りを待ってました！
本当にお母さんじゃないですか？
「そうだよ、絶対子どもって、親を好きだし、親の愛を求めているって。だから・・・！」
と心でつぶやきながら、泣いて読みました。
優しい愛、包み込む愛を使い分けましょう。

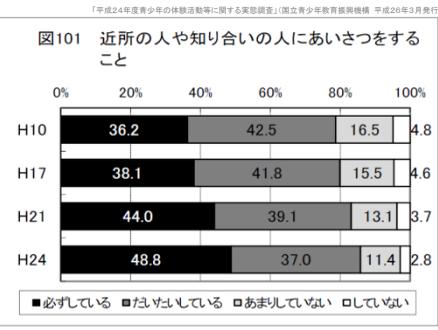
(答えはこの通信の左下です)

一巻から七十数巻まで読んでいると、涙が止まらなくなる場面が、何回も出てきます。これもそのワンシーンです。
「そうだよ、絶対子どもって、親を好きだし、親の愛を求めているって。だから・・・！」
と心でつぶやきながら、泣いて読みました。
優しい愛、包み込む愛を使い分けましょう。

ホームページならカラーで見ることができます！
URLは、 <http://es.higo.ed.jp/kutamaes/>

今日は本校校長先生が教員になって13315日目
そして、平成28年3月31日は13513日目

なるほど・ザ・家庭教育



十一日(金)の熊日新聞のこちら編集局の投稿に「あいさつをしない子が多いと聞くけど、うちの地域の子もたちは良くあいさつしてくれませう」とありまして、これって、あいさつの法則です。子どもは元気にあいさつをする人にはあいさつを返すのです。とどんなあいさつを仕掛けてくださ



（左）（右）（上）（下）（中）（左）（右）（上）（下）（中）